

2026年2月17日

各 位

(経過開示) 宇宙推進事業プロジェクト「Mars X」トークンの市場取得および
当社「ツインエッジ・トレジャリー」への組み入れ完了に関するお知らせ

当社は、2026年2月16日付「分散型自律組織「Mars X DAO」への技術提供および宇宙
推進事業プロジェクトの開始に関するお知らせ」にて公表いたしました戦略的支援の一環
として、本日、当該プロジェクトが発行するガバナンストークン「Mars X (\$MX)」の分散
型取引所（DEX）へのリストティング（上場）が完了したことを確認いたしました。

これを受け、当社は本日、市場を通じた公正な取引により当該トークンを一定数取得
し、当社の戦略的資産ポートフォリオ「ツインエッジ・トレジャリー」へ正式に組み入れ
ましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 取得の背景と整合性について

当社は、2026年2月16日付の開示において、Mars X DAOからの「事前割当（プレマイ
ン）等の受領は行わない」旨を公表いたしました。これは、特定の主体が初期トークンを
独占することなく、全ての参加者が公平な条件で参画する「フェアローンチ」の精神を尊
重するためです。

本日のトークン取得は、当該方針を遵守し、分散型取引所（DEX）における一般市場取
引を通じて、自己資金により実施されたものです。（取得価額：約9百万円）

これにより、当社は透明性を保ちながら、DAOのエコシステムに資金（流動性）を供給
し、かつガバナンス参加権を有する主要なステークホルダー（保有者）としての地位を確
立いたしました。

2. 「ツインエッジ・トレジャリー構想」における位置づけ

当社の掲げる「ツインエッジ・トレジャリー構想」は、宇宙産業の成長を多角的に企業
価値へ取り込む戦略です。

➢ リアル資産 (RWA) : スペース X 社 株式 (※既報の通り投資実行済み)

➢ デジタル資産 (Crypto) : Mars X トークン (※今回取得)

今回、Web3 文脈での宇宙事業応援プロジェクトである「Mars X」トークンをポートフォリオに組み入れることで、実社会の宇宙開発の進展と、デジタル空間でのコミュニティの熱狂の双方を、当社の資産価値向上に繋げる体制が整いました。

3. 取得の内容

対象資産: Mars X DAO ガバナンストークン (\$MX)

取得方法: 分散型取引所 (Raydium 等) における市場買付

取得目的:

- ・「ツインエッジ・トレジャリー」の構築および運用
- ・ Mars X DAO におけるガバナンス (投票) への参加
- ・ エコシステムの安定化および流動性供給

なお、本件が当期の業績に与える影響は軽微であります。

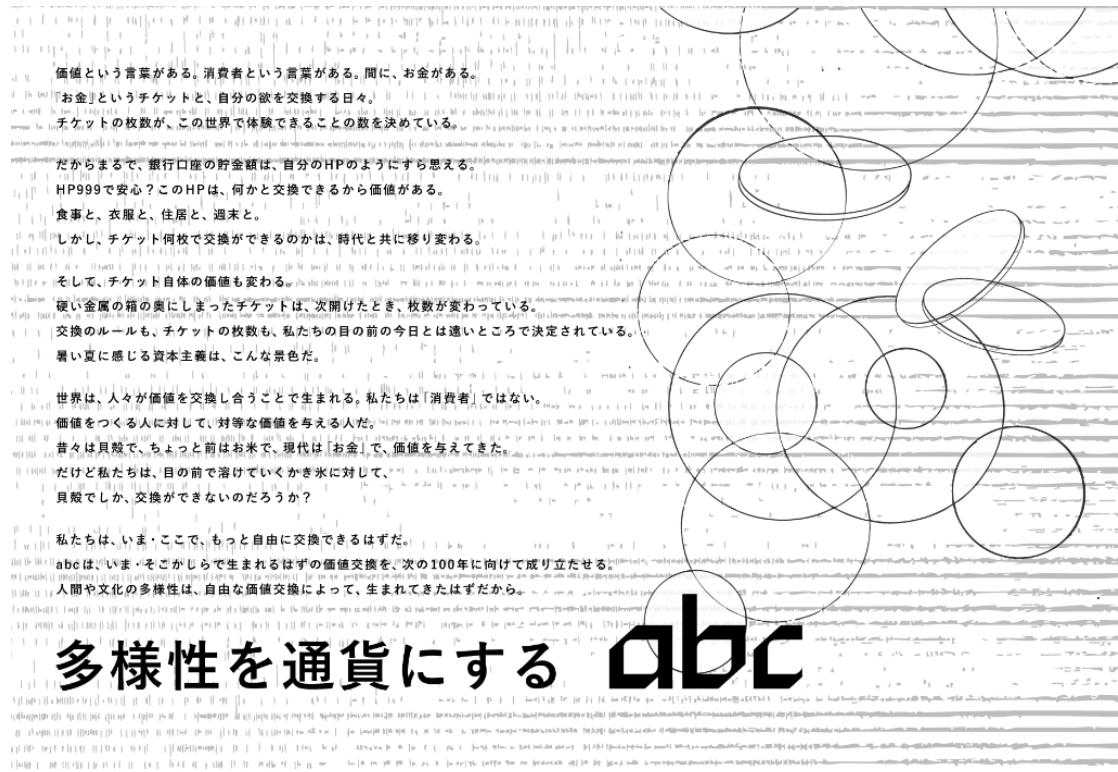
今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

【ご留意事項】

本資料は、当社の事業活動に関する情報の提供を目的としたものであり、特定の暗号資産（トークン）の勧誘や売買の推奨を目的とするものではありません。

「Mars X」トークンは Mars X DAO が発行するユーティリティ・トークンであり、金融商品取引法上の有価証券には該当いたしません。また、本プロジェクトはスペース X 社の公式プロジェクトではありません。 暗号資産は価格変動リスクを伴うものであり、当社は当該トークンの価格や価値を保証するものではありません。

記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸としてすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上